

番号	2-2-1	表題	放線菌発泡スカム対策を目的とした消泡剤の性能比較	
内容	<p>芝浦水再生センターでは、反応槽において放線菌による発泡が例年発生し、過去には発泡スカムが覆蓋を持ち上げて反応槽外に流出したこともあり、維持管理面の課題となっている。コロナ禍においては流入負荷の減少により一時的に発泡が収束していたが、コロナ禍の終焉に伴って発泡が再発するようになった。そのため、消泡剤を投入して発泡スカムを消泡することとした。</p> <p>7種類の消泡剤について事前にテーブル試験を行った結果、エーテル系やエステル系等の消泡剤が消泡性能として優れていることがわかった。また、いずれの消泡剤も活性汚泥に対する顕著な毒性は見られなかったものの、酸素溶解効率が低下する特性があることがわかった。</p>			
キーワード	消泡剤、放線菌、エーテル系、酸素溶解効率			
処理区名	芝浦処理区	位置区分	水再生センター	
職種区分	環境検査	施策区分	維持管理向上	
状態区分	調査 研究	新規性		
実施年度	令和5年度	全体期間	令和4年度～令和5年度	
担当部署	中部下水道事務所芝浦水再生センター水質管理担当			
発表履歴	局内	令和5年度 水質技術研究発表会		
	局外	令和6年度 第61回下水道研究発表会		
調査方法	直営調査			
関連情報				